

# 大垣女子短期大学「教育に関する基本方針」

(平成23年4月1日制定)

(平成25年4月1日改訂)

(平成26年4月1日改訂)

(平成28年4月1日改訂)

(平成31年4月1日改訂)

(令和3年4月1日改訂)

(令和6年4月1日改訂)

## 教育の基本

### I. 学校法人基本理念

人を育て 地域を創り 未来を拓く

### II. 建学の精神

中庸を旨とし 勤労を尊び 職業人としての総合能力を有する 人間性豊かな 人材の養成

### III. 教育理念

豊かな人間性を培い、専門的な知識や技能を身につけて、積極的に地域や社会で貢献できる女性の育成

### IV. 教育方針

1. 一人ひとりの学生を大切にして主体性と自律性を培う教育（学生重視の姿勢）
2. 目標をもってそれぞれの専門的な知識や技能を学べる教育（知識技能の修得）
3. 徳育を重視しながら知育・体育とのバランスのとれた教育（徳・知・体の調和）
4. 自然や社会の環境と生命を大切にしていくなかで感性を磨く教育（環境と生命重視）
5. 地域社会への貢献をととして自己効力感を体得できる教育（地域貢献の取組）
6. 各学科の特性を互いに生かし合いつながりをもった教育（学科交流の推進）

## 学科の教育目標

### 〔幼児教育学科〕

豊かな教養と人間性を備え、幼児教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これに基づいて社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援にあたることのできる人材を育成する。

1. 子どもに深い愛情をもち、その健やかな成長を見守り、支援できる保育者の育成
2. 社会的な課題への問題意識をもち、その解決のために努力する保育者の育成
3. コミュニケーション能力を備え、子育て支援のできる保育者の育成
4. 保育現場における実務能力を有し、地域と連携し様々な課題に対応できる実践力のある保育者の育成

### 〔デザイン美術学科〕

「美術」の理解と表現指導を通し、思考、感受、行動に反映できる個人を育成する。

1. 基礎表現技能の修得及び基礎理論、美術史概要の理解

2. 個人の能力と特性を見据えた造形表現力の育成
3. 美意識に基づく社会、自然観の養成
4. 美術を通して地域連携、貢献を考えられる女性の育成

#### 〔音楽総合学科〕

音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通して教養と豊かな人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を養成する。

1. 基礎的な音楽知識の修得、及び専門楽器の技術をもつ人材の育成
2. 音楽に関する学びを通して関連する歴史や自然に対する学びを同様に深め、豊かな教養と人間性を持つ人材の育成
3. 音楽活動や演奏を通じて人と関わり、地域に貢献することができる人材の育成

#### 〔歯科衛生学科〕

豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識及び技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成する。

1. すべてのライフステージにおける対象者に口腔の健康を支援できるための専門知識、全身に関わる医学的知識及び倫理観を持つ歯科衛生士の育成
2. 対象者の口腔の健康問題に対して、歯科衛生の立場から支援できる歯科衛生士の育成
3. 人間関係形成に必要なコミュニケーション能力を備えた歯科衛生士の育成
4. 地域との連携や地域貢献を推進していく能力を備えた歯科衛生士の育成

### 三つのポリシー

#### I. 卒業認定・学位授与の方針（DP：ディプロマ・ポリシー）

大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）は、次のとおりである。

1. [知識・理解] 専門的知識と社会人に求められる教養について理解を深め、必要な知識を確実に身につけることができる。
2. [思考・判断・表現] 社会で活かせる思考力と表現力を身につけ、知識や技能を活用しながら判断して、課題解決に取り組むことができる。
3. [技能] 専門的な技能や技術を確実に修得し、コミュニケーション能力を身につけて、これらを活用することができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会や環境への関心を持ち意欲をもって学修活動に取り組めるとともに、徳性の涵養と健康な身体づくりができる。

#### 〔幼児教育学科〕

大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（幼児教育学）の学位を授与する。

1. [知識・理解] 保育の本質を理解し、保育者として専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。
2. [思考・判断・表現] 保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及

び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。

3. [技能] 保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。
4. [関心・意欲・態度] 豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。

### 〔デザイン美術学科〕

大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（美術）の学位を授与する。

1. [知識・理解] 美術における理論と制作を通し、美術に対する知識と理解を有することができる。
2. [思考・判断・表現] 制作において考え、選択し、表現することを、自己の制作の中で展開し、表現することができる。
3. [技能] 美術表現上、必要な技法を修得する。研究し、継続した結果、自己表現につなげることができる。そして、その表現を人に伝えるコミュニケーション能力がある。
4. [関心・意欲・態度] 美的なものに興味を持ち、多様なものを吸収し、選択する。また、真摯な態度で物事に当たり意欲的に研究し、表現に繋げることができる。そして人との関わりの中、地域との連携、貢献を推進していくことができる。

### 〔音楽総合学科〕

大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（音楽）の学位を授与する。

1. [知識・理解] 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
2. [思考・判断・表現] 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
3. [技能] 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
4. [関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。

### 〔歯科衛生学科〕

大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（歯科衛生学）の学位を授与する。

1. [知識・理解] 全身の観点から口腔の健康支援ができるための専門的な知識や医療人として社会に貢献していくための知識を修得することができる。
2. [思考・判断・表現] 歯科衛生士として人々の健康問題の解決に向けて、生物・心理・社会的な観点から論理的に考え判断ができ、さらに適切な説明ができる。
3. [技能] 歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションする力がある。

る。他職種と協働・連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。

4. [関心・意欲・態度] 医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持ち、自らが関心と意欲を持って地域との連携や社会貢献を推進していくことができる。

#### 〔教養教育（教養科目）〕

教養教育は、関心と意欲を持って主体的に取り組むことで、①専門分野の学びの基盤、②人間の在り方や生き方、③文化や社会と環境、④地域社会での社会人に求められる基本などについて、知識・理解、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション能力、必要な技能や技術等を身につけることを目的とする。

共通教養教育の中心となる教養科目では、学科の目的に応じて、次のものを確実に培うことを目標とする。

1. [知識・理解] 専門分野を学ぶ基盤となる知識及び社会人に共通して求められる社会変化への対応と地域に貢献していくための基本的知識についての理解。
2. [思考・判断・表現] 人間の在り方や生き方、文化や社会、環境などの理解に必要で、専門分野を学ぶための基本ともなる思考力や判断力、表現力。
3. [技能] 専門分野を学ぶ基盤となる学問的な技能や知的技法及び社会人に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能。
4. [関心・意欲・態度] 教養について学ぶことを将来の社会的役割と結びつけてとらえ、学修への関心と意欲を持って、主体的に取り組んでいこうとする態度。

#### 〔キャリア教育〕

キャリア教育は、社会的・職業的自立に向けて、その基礎となる①知識や理解、②思考・判断・表現する力、③技能、④意欲や態度などを育て、学生一人一人のキャリア発達を支援することを目的とする。

共通キャリア教育では、学科の目的に応じて、次のものを確実に培うことを目標とする。

1. [知識・理解] 職業や就労についての基本的事項、キャリアに関連する社会の仕組み、社会人に必要な基礎的事項等に関する知識やその理解。
2. [思考・判断・表現] 社会的・職業的な自立に向けた将来の構想、自己のキャリアについての適性と能力の認識、進路選択のための課題解決等に関する基本的な思考力・判断力・表現力。
3. [技能] 専門的知識や技術の社会的な活用、キャリアの修得や進路選択のために必要な計画の立案、協働の基礎となる集団におけるマナーやコミュニケーション等に関する基本的な技能。
4. [関心・意欲・態度] 社会の中で役割を果たしていくこと、キャリアを基本とした自己認識と将来設計、社会人に必要な行動様式を身につけていくこと等に関する望ましい関心・意欲・態度。

## Ⅱ. 入学者受入れの方針（ＡＰ：アドミッション・ポリシー）

大垣女子短期大学の入学者受入れの全学方針（全学アドミッション・ポリシー）は、次の内容を身につけ、本学の教育理念にそって学修に努力して取り組んでいこうとする人とする。

1. [知識・理解] 学びに必要となる基礎的・基本的な知識や概念



2. [思考・判断・表現] 学びにおける課題解決に必要なとなる基礎的な思考力・判断力・表現力
3. [技能] 学びに必要なとなる基礎的・基本的な技能
4. [関心・意欲・態度] 学びの内容に関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度

#### 〔幼児教育学科〕

1. [知識・理解] 保育者となるために必要となる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 保育に関する専門性を高められるように、課題解決に必要なとなる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 保育者になるための基本的なコミュニケーション能力と協調性をもち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 子どもへの深い愛情をもち、社会の動向に関心を寄せ、様々な課題に対応でき、社会的貢献への意欲をもっている。

#### 〔デザイン美術学科〕

1. [知識・理解] 美術に関する基礎的な知識を有し、美術的表現を理解する努力ができる。
2. [思考・判断・表現] 美術的表現に関わる基礎的な思考力・判断力を有し、自己を表現する努力ができる。
3. [技能] 美術表現における基本的な物を見つめる力、描く力、造る力を有し、自己表現を伝えるコミュニケーション能力を持つ努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 美術に関心を持ち、個としての表現を高め、また、コミュニケーション能力を持ち、地域、社会と協調性を有する努力ができる。

#### 〔音楽総合学科〕

1. [知識・理解] 音楽の学びに必要なとなる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 音楽人として課題解決に必要なとなる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 音楽人となるための基本的なコミュニケーション能力と協調性をもち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 音楽全般に幅広く関心を持って主体的に取り組み、音楽を通じて社会的貢献をする意欲を持っている。

#### 〔歯科衛生学科〕

1. [知識・理解] 医療人になるために必要となる基礎的な学力を有する。
2. [思考・判断・表現] 歯科衛生士として課題解決に必要なとなる基礎的な思考力・判断力・表現力を将来にわたって培うことができる。
3. [技能] 歯科衛生士になるための基本的なコミュニケーション能力と協調性をもち、専門的な技能を修得できるように努力ができる。
4. [関心・意欲・態度] 保健・医療・福祉の分野に関心があり、社会的貢献をする意欲を持っている。

### Ⅲ. 教育課程編成・実施の方針（ＣＰ：カリキュラム・ポリシー）

大垣女子短期大学の教育課程・実施の全学方針（全学カリキュラム・ポリシー）は、建学

の精神及び教育理念に基づく卒業認定・学位授与の全学方針（全学ディプロマ・ポリシー）に示す人材を確実に育成していくため、教育方針をもとに以下により教育課程を編成する。

1. 学生が幅広い視野をもって学科目的に沿った主体的な学びが行えるよう、その基盤づくりとして教養教育とともにキャリア教育も含む総合的な内容からなる教養科目を開講し、適切な選択や受講ができるようにする。
2. 学生が専門的な知識と技能を体系的に学べるよう、各学科に専門に関する科目を基礎から応用までの学修段階に配慮した順序と内容で開講し、教養とともに専門分野に係る「知識・理解」「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」の伸長と定着を目指せるようにする。
3. 学生が教養科目と専門に関する科目を学修するにあたっては、主体的な学びを目指す学修活動を中心に、科目の特性に応じて、地域社会と結びついた実践的な活動、環境を重視し、社会性と協調性、その基盤となる自律性と品性などを身につけていく活動に取り組んでいけるようにし、これに配慮して各科目を配列する。
4. 学生が科目を受講するにあたっては、各科目の目標とDPとのつながりを示したカリキュラム・マップと、教育課程における各科目の関連や順序を示したカリキュラム・ツリーを活用して、教育課程とその内容等を確実に理解しながら学修に臨めるようにする。

#### 〔幼児教育学科〕

豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、よりいっそう社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援に携わることのできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 子どもの健やかな成長、幸せのために、子ども理解を基に援助できる能力や、子育て支援に係わる能力を育成する専門教育を実施する。
3. 実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実施する。
4. 保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能・思考力や、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専修科目を設ける。

#### 〔デザイン美術学科〕

生涯にわたる素養として「美術」を感じ、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 1年次前期に基礎領域全般を学び、理論と実技を通し関心と理解を深める。
3. 描写系科目を造形表現の基本とし、関連科目を充実させ自己の表現力と技術力を向上させる。
4. 学生はどの授業でも受講でき、多様性のある豊かな受講計画が考えられる。
5. 手を動かす、手で作る、手で描くことを基本とするも、コンピューター使用における表現性、世界観を重視し、どの授業も学生は受講でき、それぞれの「美術」を考えられる。

6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わり大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。

### 〔音楽総合学科〕

音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。
3. 地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。
4. 各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
5. 学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。
6. 音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。

### 〔歯科衛生学科〕

豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識及び技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
2. すべてのライフステージにおける対象者の口腔の健康支援ができる基礎教育と専門教育を実施する。
3. チーム歯科医療の一員として患者のニーズに応え信頼される医療人となるため、全身状態の理解・把握を目指した臨床医学教育を実施する。
4. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。
5. 歯科衛生士の国家資格取得を支援するための教育を実施する。

### 〔教養教育（教育科目）〕

全学科に共通する教養教育の中心として教養科目を開講する。教養科目を「教養基礎」と「社会人基礎」の2つに分類し、学生による適切な選択ならびに履修により、めざす力等の確実な定着や涵養に向けた学びのカリキュラムを次のとおり編成する。

1. 「教養基礎」をさらに「人文」「社会」「自然」「総合」の4つに区分し、主に専門分野の学びの基盤、人間の在り方や生き方、文化や社会と環境についての学びを中心に必要な科目を開講する。
2. 「社会人基礎」では主に地域社会で活躍する社会人に求められる基本及び教養教育全体の基礎についての学びを中心に必要な科目を開講する。
3. これらの分類及び区分を活用し、適切な選択と履修で総合的な教養の涵養が図れるように指導と支援を行う。

## 〔キャリア教育〕

教養教育や専門教育の学修を通じて、又は連動性を図りながら、幅広く社会の仕組みを理解し、働くことに対する意識の醸成を図り、社会人として身につけるべき基礎的、汎用的な能力を育成するためのカリキュラムを次のとおり編成する。

1. キャリア意識の醸成の観点から、「働くこと」に対する気づきを啓発するため、「自己理解」「他者理解」「職業観の醸成」を体系的に配置し、人間関係の形成、社会形成能力を醸成する。
2. キャリア形成の観点から、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力等を育成する体系的なキャリア教育カリキュラムを配置し、キャリアプランニング能力と課題対応能力を醸成する。
3. 学生一人ひとりの発達状況の的確な把握ときめ細かな支援のために、気づきを促し、意欲・態度を育む「勤労観・職業観」、スキルを身につけ能力・態度を育む「基礎的・汎用的能力」を醸成するキャリア教育に関する科目を他の教養科目、専門科目との連動性が図れるように配置する。

## 到達指標

### 〔幼児教育学科〕

1. 〔知識・理解〕 保育の本質を理解し、保育者として専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。
  - (1) 遊びを通した主体的・対話的で深い学びについて理解することができる。
  - (2) 子どもの資質・能力を育むための、発達段階や環境を通した保育について理解することができる。
  - (3) 子どもの生きる力の基礎を培うための、環境構成や援助の在り方について必要な知識を身につけることができる。
2. 〔思考・判断・表現〕 保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。
  - (1) 教育・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
  - (2) 子どもの行為の意味に気づき、それらを分析・判断し実践に活かそうとすることができる。
  - (3) 時代の変化や様々な価値観、地域の特性に対応できる柔軟性を身につけ、現状に合わせて改善し、外部の資源を効果的に活用しようとすることができる。
3. 〔技能〕 保育実践に必要な保育技術や情報収集能力をもち、子どもとの関係を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。
  - (1) 子ども理解の理論及び方法や、援助するために必要となる多様な保育技術を身につけることができる。
  - (2) 一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成ができる。
  - (3) 保育実践や社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけ、職員や保護者などと柔軟に関わり連携することができる。
4. 〔関心・意欲・態度〕 豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資質能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していこうとすることができる。
  - (1) 豊かな感性と教養を養い、理想の保育者像を描き、常に研鑽に努めることができる。

- (2) 社会事象や課題、子どもを取り巻く環境などに関心を持ち、実践を常に振り返り、子どもの最善の利益のために新たな方法や手だてを行おうとすることができる。
- (3) 社会に貢献する使命感と責任感をもって、様々な課題に対応するため地域と連携し、積極的に行動することができる。

### 〔デザイン美術学科〕

1. 〔知識・理解〕 美術における理論と制作を通し、美術に対する知識と理解を有することができる。
  - (1) 美術・デザイン分野を学ぶ基盤となる知識を有することができる。
  - (2) 美術・デザイン分野を学ぶ基盤となる知識への理解を深めることができる。
  - (3) 美術的表現の理論を修得し、応用させることができる。
2. 〔思考・判断・表現〕 制作において考え、選択し、表現することを、自己の制作の中で展開し、表現することができる。
  - (1) 美術的表現の必要性を総合的に考えることができる。
  - (2) 美術的表現での、要・不要や是非を判断できる。
  - (3) 制作実践において、意義ある美的表現ができる。
3. 〔技能〕 美術表現上、必要な技法を修得する。研究し、継続した結果、自己表現につなげることができる。そして、その表現を人に伝えるコミュニケーション能力がある。
  - (1) 美術表現上、必要な技法を修得することができる。
  - (2) 継続的に研究をし、視覚表現の提案ができる。
  - (3) クリエイターとして必要なコミュニケーション能力を修得できる。
4. 〔関心・意欲・態度〕 美的なものに興味を持ち、多様なものを吸収し、選択する。また、真摯な態度で物事に当たり意欲的に研究し、表現に繋げることができる。そして人との関わりの中、地域との連携、貢献を推進していくことができる。
  - (1) 美的なものに興味や関心を持ち続けることができる。
  - (2) 真摯な気持ちで美術・デザイン分野の研究に、主体的・意欲的に取り組むことができる。
  - (3) 社会貢献する気持ちを持ち、地域と連携し積極的に行動することができる。

### 〔音楽総合学科〕

1. 〔知識・理解〕 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
  - (1) ピアノコース・電子オルガンコース：幅広い音楽的知識を身につけ、音楽への理解を深めることができる。
  - (2) ウインドアンサンブルコース：楽曲の背景や、基礎理論を学ぶことで、演奏に必要な知識を修得する。
  - (3) 管打楽器リペアコース：管楽器の構造、仕組みなど基本的な知識を修得し技術に応用することができる。
  - (4) 音楽療法コース：対象者の年代に合った曲を提供できその時代背景についての知識を修得する。
2. 〔思考・判断・表現〕 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝え、必要に応じて教えることができる。
  - (1) ピアノコース・電子オルガンコース：音楽的素養をもとに思考・判断・想像力をもっ



て表現することができる。

- (2) ウインドアンサンブルコース：聞く人に応じた選曲や、レッスン対象に応じた指導ができる。
  - (3) 管打楽器リペアコース：楽器の状態を診断し作業工程を考えることができる。
  - (4) 音楽療法コース：音楽療法の活動目標について論理的に計画及び説明ができる。
3. [技能] 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
- (1) ピアノコース・電子オルガンコース：音楽活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力を身につけることができる。
  - (2) ウインドアンサンブルコース：演奏者として必要な情報収集能力やコミュニケーション能力を身につけ、円滑な人間関係を築くことができる。
  - (3) 管打楽器リペアコース：不良箇所を診断し修繕することができる。
  - (4) 音楽療法コース：治療目的に沿った実践を関連職種と連携して行い記録することができる。
4. [関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。
- (1) ピアノコース・電子オルガンコース：自己の感性と人間性を養い、音楽と人や生活、社会とのつながりに関心を持って意欲的に取り組むことができる。
  - (2) ウインドアンサンブルコース：地域の音楽文化発展に寄与する自覚を持ち、専攻楽器の演奏技術を真摯に錬磨することができる。
  - (3) 管打楽器リペアコース：様々な楽器に興味を持ち技術向上に努めることができる。
  - (4) 音楽療法コース：常に学び続ける姿勢を持ち地域福祉に貢献する意欲を持つことができる。

#### 〔歯科衛生学科〕

1. [知識・理解] 全身の観点から口腔の健康支援ができるための専門的な知識や医療人として社会に貢献していくための知識を修得することができる。
- (1) 全身と口腔の健康の関連を医学的に説明できる。
- (2) 口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識を身につけることができる。
- (3) 歯科衛生士としての専門性に繋がる教養の基本的知識を修得し、応用ができる。
2. [思考・判断・表現] 歯科衛生士として人々の健康問題の解決に向けて、生物・心理・社会的な観点から論理的に考え判断ができ、さらに適切な説明ができる。
- (1) 歯科保健・医療・福祉の専門分野を学ぶための基本となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
- (2) 人々の健康に関する実際の問題の解決に向けて、科学的な根拠に基づいて論理的に考えることができる。
- (3) 歯科医療場面での正しい判断を、医療倫理の観点から検討することができる。
3. [技能] 歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションする力があり、他職種と協働・連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。
- (1) 口腔の健康やリスクを評価し指導計画を立て、対象者に説明できる。

- (2) 口腔疾患の予防のための基本的な施術や適切な口腔衛生指導が実施できる。
- (3) 歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、他の医療従事者との連携ができる。  
また、地域歯科保健の維持・向上のため、地域住民の視点に立ちコミュニケーションがとれる。
- 4. [関心・意欲・態度] 医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持ち、自らが関心と意欲を持って地域との連携や社会貢献を推進していくことができる。
  - (1) 人々の口腔の健康を守ること、人の心と体を守ることに寄与する歯科衛生士の職責への十分な自覚を持ち、医療人としての自己管理のもとに対象者本位の立場で対応ができる。
  - (2) 歯科医療において自ら問題点を探し出し、関心と意欲をもって解決するための能力を培うことができる。
  - (3) 地域社会に貢献する歯科衛生士の使命感を持って積極的に行動できる。

### 〔教養教育（教養科目）〕

- 1. [知識・理解] 専門分野を学ぶ基盤となる知識及び社会人に共通して求められる社会変化への対応と地域に貢献していくための基本的知識についての理解。
  - (1) 専門分野を学ぶ基盤となる内容の理解を深め、知識を身につけることができる。
  - (2) 社会人に求められる社会変化への対応や地域への貢献などに必要な内容の理解を深め、知識を身につけることができる。
- 2. [思考・判断・表現] 人間の在り方や生き方、文化や社会、環境などの理解に必要で、専門分野を学ぶための基本ともなる思考力や判断力、表現力。
  - (1) 人間や文化、社会などに関して現実の課題等に結びつけて考え、適切に判断してこれを表現することの基礎を培うことができる。
  - (2) 専門分野を学ぶための基盤となる総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
- 3. [技能] 専門分野を学ぶ基盤となる学問的な技能や知的技法及び社会に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能。
  - (1) 専門分野を学ぶための基盤となる共通の学問的な技能や技術を身につけることができる。
  - (2) 社会に必要なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる技能について、その基礎を身につけることができる。
- 4. [関心・意欲・態度] 教養について学ぶことを将来の社会的役割と結びつけてとらえ、学修への関心と意欲を持って、主体的に取り組んでいこうとする態度。
  - (1) 学修内容に興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組むことができる。
  - (2) 地域などの社会に関心を持ち、専門分野での学びとともに学んだことを将来役立てていこうと考えながら取り組むことができる。

### 〔キャリア教育〕

- 1. [知識・理解] 職業や就労についての基本的事項、キャリアに関連する社会の仕組み、社会人に必要な基礎的事項等に関する知識やその理解。
  - (1) 職業や就労に関する基本的事項についての理解を深め、知識を身につけることができる。
  - (2) キャリアに関連する社会の仕組み、社会人に必要な基礎的な内容の理解を深め、知識

を身につけることができる。

2. [思考・判断・表現] 社会的・職業的な自立に向けた将来の構想、自己のキャリアについての適性と能力の認識、進路選択のための課題解決等に関する基本的な思考力・判断力・表現力。
  - (1) 社会的、職業的な自立に向けた将来の構想、自己のキャリアについての適性を見定めたり、必要な能力を認識するなどの思考力、判断力の基礎を培うことができる。
  - (2) 将来の進路選択のための課題解決等に関する総合的な思考力や判断力、表現力の基礎を培うことができる。
3. [技能] 専門的知識や技術の社会的な活用、キャリアの修得や進路選択のために必要な計画の立案、協働の基礎となる集団におけるマナーやコミュニケーション等に関する基本的な技能。
  - (1) 社会において活用できる専門的な知識や技術などの基礎的な技能を身につけることができる。
  - (2) キャリアの修得や進路選択のために必要な計画の立案に取り組むことができる。
  - (3) 協働の基礎となる集団におけるマナーやコミュニケーション等に関する基礎的な技能を身につけることができる。
4. [関心・意欲・態度] 社会の中で役割を果たしていくこと、キャリアを基本とした自己認識と将来設計、社会人に必要な行動様式を身につけていくこと等に関する望ましい関心・意欲・態度。
  - (1) 社会の中で自己の役割を果たすことに興味や関心を持ち、見通しをもって主体的、意欲的に取り組むことができる。
  - (2) キャリアを基本とした自己認識と将来設計に関心を持ち、自己の将来の姿を描くことに取り組むことができる。
  - (3) 地域社会に関心を持ち、社会人として必要な行動様式を身につけていこうと考えながら取り組むことができる。